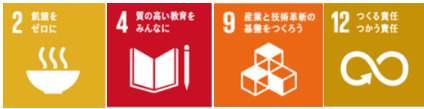


普及現地情報



発信年月日：令和4年(2022年)6月2日
所属名：大津・南部農産普及課
番号：A22002
部門分類：610 (担い手育成)
発信者名：川村、柴田、大崎

田植体験2年ぶりに田んぼで開催！

5月17日、当課は青年農業者クラブによる小学生41名を対象とした田植体験の開催を支援しました。今年は龍谷大学の学生も6名参加し、青年農業者が田植体験を通じて多くの学生と交流できました。

きらり

大津地域青年農業者クラブ季楽里は、平成14年から毎年、大津市立木戸小学校5年生を対象に食農教育の出前授業を開催してきました。昨年まではコロナの影響により、Zoomを活用して食農教育を行ってきましたが、今年は2年ぶりに現地での田植体験を開催しました。

小学生への手植え指導はクラブ員が担うよう誘導し、当課は苗の配布や田植後に見学する時間配分、連絡係に徹しました。初めて田んぼに入る小学生がほとんどで「靴下越しの水もあったかい!」、「田植難しいけど楽しい!!」と歓声があがりました。質疑応答では実演したGPS搭載自動運転田植機と手植えでどの位時間が変わるのかなど田植機について関心が高かったです。また、学校の先生からは「昨年までのZoomを活用した田植の勉強も良かったが、やはり現地での体験に勝るものはない。秋の刈り取りもよろしくお願いします。」との感想がありました。

反省会をすぐに行い、クラブ員からは水路の流量だと足や靴下を十分洗うことができなかったため次回はタンクを準備しておくことが必要なこと、当課からは時間配分、段取りをクラブ員、大学生、当課が確認できるよう準備しておくことなどの改善策が出ました。

当課では、次回の収穫体験がクラブの食農教育活動やクラブ員の資質向上につながるよう支援していきます。



ほ場で、クラブ員や大学生による
水稻手植え指導の様子。



田植後、生徒の質疑応答に答えている
クラブ員。